

# 平成23年度府中市事務事業点検 結果一覧(平成23年7月31日)

【2班】

| 事業番号         | 2-11  | 2-12   | 2-13   | 2-14  | 2-15   |
|--------------|---|--|--|---|--|
| 事業名          | 公害防止指導対策事業  | 補助金 樹木保存事業費  | 防災資材等整備事業  | 補助金 はつらつ高齢者就業機会創出支援事業費  | 自主活動奨励事業   |
| H23年度予算額(千円) | 14,290  | 7,240  | 67,117   | 19,874  | 13,259   |
| 点検委員評価       | 不要  | 1  |  |   | 1  |
|              | 再検討・見送り   | 2  |  | 3   | 2  |
|              | 国・都・広域  |  |  |   |  |
|              | 市(要改善)  | 4  | 2  | 3   | 2  |
|              | 市(現行通り)   | 1  |  | 2   |  |
| 点検結果         | 市(要改善)  | 再検討・見送り  | 市(要改善)   | 再検討・見送り   | 再検討・見送り  |
| 点検委員コメント     | <p>●苦情への対応、苦情を受けた指導が主である中、そこにかかっている費用(特に人件費)の整理ができていないほか、その結果の分析も不十分です。これまでの事例を分析し、行政の関与が不可欠なところはどこか、そこに有効な手法は何かご検討ください。</p> <p>●これを点検にかけた意図が分からない。複数苦情箇所を把握していないとは信じがたい。行政の不作为はないか。</p> <p>●行政でやるべきこと。民-民間での調整でやるべきことを整理する。</p> <p>●問題解決に対する戦略的手法を考える。根本的解決方法を考える。これまでのやり方は場当たりの(対処療法)で根本的解決になっていない。</p> | <p>●大切な樹木「保存樹木等」を守る政策として、明確化すること、生け垣や緑被率を上げる政策を混同していると思う。</p> <p>●そもそも何のために保存するのか。何のための事業なのか。(課題の整理+目的・目標の明確化)そのために何が本当に必要なのか。ここが根本的に検討できていません。</p> <p>また、バラまきだけではなく、必ず検証、フォローアップが必要です。根本的な見直しを求めます。</p> <p>●私有の緑の外部性を公共財と考えるなら、それに公費を出す合理性はあるかもしれない。しかし、その方法については必ずしも効果的、効率的とはいえない。街づくりの大枠の中で方法については、より効果があるものを検討すべき。少なくとも現在のやり方に効果は確認できない。緑被率を高めるなら、別の方法のほうが効果があると思う。</p> <p>●前向きに樹木保存を進めるべく、個人所有の保存樹木が減る原因をつかむ。</p> | <p>●備蓄しても、家具転倒防止器具にしても、自助で賄うべき部分、行政で用意すべき部分があると思います。市民・民間との連携の中で、より効率的・効果的に行うことを検討してください。</p> <p>●流通プロセス、店舗、病院、福祉施設等との協力で根本的な見直しをすると、予算も計画も変わると思われる。</p> <p>●基本的に大きな問題があるとは思えないが、備蓄の量、方法、外部との連携、さらに、緊急事態における運用について、さらに十分なプランニングをしていく必要があると考える。</p> | <p>●成果は上がっているが、都との制度、あり方も今日の課題を視野に検討すべき。お金があるので実施している事業にも見えかねない。</p> <p>●よい結果も出しているが、コストに見合ったものかどうかは議論のあるところ。公社として独立した運営を含めたやり方も検討すべき。公社の資本金3億円は多すぎる。</p> <p>●収益性の改善をし、補助金を減らす努力を。就職率を更にアップさせる。</p> <p>●府中市として補助金を出すからには、この雇用・就業支援という分野で本当に対象とすべき市民は誰か、現状把握・分析が必要と考える。また、公社の経営を考えた際に本当に必要なお金か、再検討をお願いします。</p> | <p>●児童館そのものは、無料でいいが、サークル活動は参加費を定め、税の投入を減らすことができる。子ども社会の中でも、サークル活動は不平等な存在ではないか。</p> <p>●本事業の目的を再度検討してみてもいいかと思う。</p> <p>●学童保育、放課後子ども教室、スポーツ少年団、その他NPOなどの活動との関連をみながら、統合的なプログラムとして再構築すべきではないか。このままでは過剰サービスとの印象がある。</p> <p>●自主活動とは何か。根本的に考え直されてはいかがでしょうか。子どもの居場所を提供するという意味では重要だと思えますが、児童館という場所を提供して、さらに必要な事業でしょうか。他の類似事業、地域の民間事業者の状況など踏まえて見直しをしてください。</p> |

府中市H23年度一般会計予算:88,350,000(千円)  
点検対象事業:一般会計予算の約4.6%

※点検委員評価は、5人の点検委員の評価により、多数決で決定しています。(○印が班の評価となっています。)  
点検委員の多数決が同数の場合は、コーディネーターが採決を行っています。

| 事業番号         | 2-16   | 2-17   | 2-18  | 2-19   | 2-20  |   |
|--------------|--|--|---|--|---|---|
| 事業名          | ふれあいの集い運営事業  | 地区図書館運営事業  | 美術館維持管理事業   | 学習事業運営事業   | スポーツ大会運営事業  |   |
| H23年度予算額(千円) | 8,309  | 7,608  | 133,635   | 18,205   | 5,397   |   |
| 点検委員評価       | 不要   |  |   |  |   |   |
|              | 再検討・見送り  | 1  |   | ③  | 1   |   |
|              | 国・都・広域   |  |   |  |   |   |
|              | 市(要改善)   | ④  | ⑤   | ⑤  | 2   | ④ |
|              | 市(現行通り)  |  |   |  |   |   |
| 点検結果         | 市(要改善)   | 市(要改善)   | 市(要改善)  | 再検討・見送り  | 市(要改善)  |   |
| 点検委員コメント     | <p>●人と人との結びつきを強める施策を積極的に推進してください。</p> <p>●本来の目的からすると効果が発揮されているか計測がなされていない。よりよきコミュニティづくりのためにこの事業のあり方を再検討すべきと考える。委託から自立の方向性へ。</p> <p>●市、文化センターの請負ではない自主的なコミュニティ活動を育てる視点が必要。委託は不自然な形と考える。</p> <p>●地域住民の交流とふれあいの場を広げることを目標とすると、委託でここまで細かに指定して実施するのでは、地域ごとの自由度をなくし自主性を妨げるものになりかねません。目的に照らして手段が不適切と考えます。目的は否定しませんが、抜本的に見直してください。</p> | <p>●よい図書の新なる選択を。</p> <p>●図書館は地域の文化向上の中心であると同時に経済活性化の中心にもなりうる。センターの周辺に書店やカフェ等を併設すること等の民間のノウハウを生かした新たな展開がありうる。</p> <p>●府中市として方向性、事業の目的が見えません。地区図書館として何を指すのか。通勤層が多いから「1Q84」というのは、地区特性を踏まえた運営と思えません。せっかくコミュニティ圏ごとの施設ですので、コミュニティごとの課題を地域と共有し、選書を行っていくこともご検討ください。</p> <p>●費用をどれだけかけて、どれだけサービスを提供したいが見えない。中央図書館の司書の話も聞かずに判断不能。設備、施設を活用するソフトを誰が担うのか任せるのが見えなかった。点検には、中央図書館を先に掛けるべきだったのではないかと。</p> | <p>●委託の入札方法の検討を。運営のあり方、経営をどうかよくお考えになってください。公益財団法人化などで寄付なども受けて応援団を育てて守っていただきたい。</p> <p>●自治体が美術館を所有することはすばらしいと思うが、財政が厳しくなる状況でそれを維持し続けることは難しい。最終的には売却や閉館も視野に入れたビジョンとアウトソーシングを含めた経常的なコスト削減の努力が必要。</p> <p>●将来、売却も視野に。次回は点検委員に現地確認を。</p> <p>●美術館全体の方向性について問われる場面が出てくると思います。資金集めの方法について、改めて検討するなど、せっかくの施設を生かし、地域で育てていく仕組みを考えてください。(指定管理者も全体での議論と思います。)</p> | <p>●生涯学習の全体像がわからないまま評価しにくい。社会教育をしっかりとらえて計画を作られたい。少なくとも民間でできる事は、民に移していくプランが必要と考える。</p> <p>●極めて低価格での講座、セミナーの提供は明らかに民業圧迫であり、地域経済にはマイナスの効果をもたらしている恐れがある。また、今後財政が厳しくなるなかで、こうしたサービスを提供し続ける事は困難になる。他部署が担当する事業も含め、戦略的な学習運営事業のプラン作りが必要。</p> <p>●市として生涯学習の推進をどう考えているのか。重複事業も多いようです。全体のビジョン、その中での役割分担ができていないように思います。そもそも行政の役割はどこにあるのか、というところから再検討が必要です。</p> | <p>●他のスポーツ事業も含めて、市全体でスポーツに関する戦略を作り直すべき。</p> <p>●市が委託で縛りすぎではないか。日常活動の支援と、“晴れの日”の大会費用なども合わせて市民に委ねる方が、活力が出るのではないかと。</p> <p>●スポーツの振興のため、市民のスポーツ活動を後押しすることに意義があるとは思いますが、“委託”という形で特定団体を支援する合理的理由がないように思います。主体的なスポーツ活動を促していくために、手法を見直すべきと考えます。</p> |   |